

医療を通じて人と地域を結ぶメディカル情報誌

あかね akane

vol.30
2013
Winter

Close Up 土谷総合病院 消化器内科

内視鏡と超音波検査 正確な検査を通じて地域に貢献

Topics 第7回日本腎臓病薬物療法学会 学術集会・総会

土谷総合病院 給食室



土谷総合病院 消化器内科スタッフ

いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう



医療法人あかね会

理事長挨拶

厚労省は、「2025年問題」への取組みを、急ごうとしています。2025年には、団塊の世代が75歳以上となり、医療費など社会保障費の急増が心配されている問題です。「2025年問題」対策として構築された「社会保障と税の一体改革成案」の医療・介護等の分野では、「2025年頃までに医療・介護サービスのあるべき姿を実現」と明記し、「病院・病床機能の分化・強化と連携」、及び「地域包括ケアシステムの構築」を重点目標としています。

「社会保障と税の一体改革成案」を踏まえ、厚労省が描いた「2025年の医療サービス提供体制のイメージ」では、高度急性期(18万床)、一般急性期(35万床)、亜急性期等(26万床)、長期療養(28万床)となっています。現在、7対1・10対1・13対1・15対1入院基本料を算定する病床、療養病床が、それぞれ、36万床・21万床・3万床・5万床、22万床となっていますが、厚労省は、できるだけ早く、このイメージに近づけたいようです。そのため、2014年度診療報酬改定のターゲットとなっているのが、7対1入院基本料です。従来、急性期の定義は、「患者の病態が不安定な状態から、治療によりある程度安定した状態に至るまで」とされていましたが、7対1入院基本料算定病院の役割は、「複雑な病態を持つ急性期の患者に対し、高度な医療を提供すること」と定義することになるようです。

一方、「地域包括ケアシステムの構築」では、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、おおむね30分以内の区域で、医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に提供される社会システムの構築が目標とされています。

高齢社会というと日本は世界のトップランナーと言われていて、現在、日本は、高齢化率が世界一で、高齢化のスピードが世界一です。その日本の高齢社会を急速に追い上げているのが、中国・韓国・インド等のアジア諸国です。アジア諸国の中で、最初に先進国となった日本が、アジア諸国の先陣をきって高齢社会に立ち向かうことになるのは、宿命ではないかと感じます。

医療法人あかね会
理事長

土谷 晋一郎

Tsuchiya Shinichiro





土谷総合病院 消化器内科

消化管専門医2名・肝臓専門医1名・胆膵専門医1名が在籍しており、消化器疾患全般をバランスよく診療できる体制が整っています。また、医師や看護師などが連携し、肝臓病の教室を無料で開くなど、地域に根ざした活動を積極的に行っています。



多彩な特色を 活かしながら、 地域に根つき 親しまれる 存在でありたい

平和記念公園のすぐ向かい、
広島の中核に位置する
「土谷総合病院」
消化器内科は、
さまざまな取り組みとともに
地域のみなさまに最善の診療を
提供したいと考えています。

●土谷総合病院
消化器内科 部長 荒滝 桂子

消化器内科の主な特色を紹介いたします。

1.消化管出血—24時間体制で緊急内視鏡のできる体制を整えております。また、当院は慢性腎不全や虚血性心疾患症例が多いため、重篤で難治性の消化管出血に日常的に遭遇します。外科・放射線科との連携プレーにより迅速に対応しています。

2.内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)—従来の内視鏡的粘膜切除術(EMR)と比較して、出血性合併症がやや多い傾向はありますが、一括切除率が高く遺残の危険性が少ないため積極的に施行しています。中国・四国厚生局から早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)の適合施設に認定されました。

3.慢性下痢症—非典型的な難治性下痢症などについても様々な検査・薬剤を用いた診療に習熟しております。患者さまと十分なディスカッションを行い、納得いただける診療を行うことを心がけています。

4.漢方外来(甲斐医師)—「何らかの腹部症候があるにもかかわらず検査で異常なしと診断されて困っている方に漢方的なアプローチも行っています。第1、3金曜日午前、十分な診療時間を確保するため、完全予約制とし、多



様な病態に対応するために約90種の製剤を取り揃えています。

5.慢性肝疾患—肝臓病教室を月1回開催しています。この教室では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、検査技師、事務で構成する「土谷総合病院 チーム肝臓」のメンバーがそれぞれの立場から肝臓病との上手な付き合い方をアドバイスしています。患者さま、ご家族のほか、どなたでも無料で参加できますのでどうぞ気軽にお立ち寄りください。

さらに、消化器内科病棟および外来には、広島県から認定を受けた「ひろしま肝疾患コーディネーター」が、肝臓疾患の個別相談・指導を行い、患者さまを心身共にサポートしています。



Close Up

正確な検査を通じて 地域のみなさまに 最善の医療を

今年度、消化器内科では、
最新の内視鏡システムと
超音波検査機器を導入いたしました。

●土谷総合病院 消化器内科



◀ EVIS LUCERA ELITE

消化器内科の主な検査、内視鏡と超音波検査についてご紹介いたします。

【内視鏡】消化器内科 医長 甲斐 広久

内視鏡室のスタッフは、医師4名、看護師17名、事務1名の計22名が交代で担当しています。平均年齢も若く活気のある職場です。年間検査件数は、上部内視鏡1800件、下部内視鏡800件、胆膵道検査50件程度で、荒滝(肝臓)、石丸(胆膵)、甲斐、島本(消化管)が検査を担当しております。各臓器の専門医師がいることにより消化器全般をカバーし、また内視鏡経験年数も15年以上の医師ばかりなのは当院の特色です。

当院は他の病院と比べ、重度の心疾患や透析の患者さんが多く、一般の人より容態が不安定な方が訪れます。そのため、常に安全な検査を意識し検査を行います。十分な問診はもちろんですが、血液の中の酸素量や心電図を監視しながら検査を行っております。緊急時には、他科の医師とも連携し迅速に対応できる体制をとっております。

また、患者さんから要望の多い苦痛の少ない検査に対応するため、丁寧な咽頭麻酔を心掛け、ご希望があれば静脈麻酔も使用しております。以前に検査が辛かった経験のある方は、薬剤の種類や量を変更する事で可能な限り対応しますのでご相談下さい。ただし、静脈麻酔はたくさん使用すると

呼吸が弱くなり、血圧が低下する副作用があるため、ご要望に十分お応えできない場合もあります。

最後に正確な診断を実践するため、この度最新の内視鏡システム オリンパスEVIS LUCERA ELITEを2013年10月に導入しました。従来の機種と比較し解像度や明るさが格段に進歩したのはもちろん、特殊光技術の導入により、今までは捕らえることが困難な病変も容易に診断出来るようになりました。またスコープの太さや硬さが改善したため苦痛の少ない検査も可能になっています。

検査を希望される場合は一度外来を受診されるか、かかりつけの先生にご相談下さい。かかりつけの先生からFAX等での予約(地域連携)も受け付けております。

当内視鏡室では、安全な検査、苦痛の少ない、正確な診断をモットーに診療しています。

【超音波検査】消化器内科 部長 荒滝 桂子

2013年8月、消化器診療に欠かせない機器腹部超音波装置 シーメンスACUSONS2000を導入致しました。それで何がわかるのか簡単にご説明いたします。

肝臓は、病気の程度が進行するにつれて硬くなります。これを専門用語では「線維化」といいます。その程度を調べるために

は、肝生検(肝臓に針を刺して組織を採取すること)を行います。肝生検は、出血の危険性があるので入院して行う検査であり、抗血小板剤・抗凝固薬内服中の方に行うのは難しい検査です。

しかし、今回導入した超音波装置であれば、通常のエコー検査中に肝臓の硬さ(肝臓病の進行程度)もわかるというわけです。最近、TVなどで「放っておくと怖い脂肪肝」という話題を見聞きすることはありませんか? 診察室でもお酒を飲まないのに肝硬変になっている方や肝がんができた方が増加しています。脂肪肝から進行してしまったケースです。そうなる前に早期の診断と対策が必要です。今回導入した装置は、エコー上の所見は同じでも進行した脂肪肝か否かの鑑別の一助ともなり、患者さんに数値で肝臓の硬さの程度を伝えることができますので、患者さんの病気に対する自覚も高まり有用です。

このように、今回、土谷総合病院消化器内科は、最新の内視鏡システムと超音波検査を導入し、さらに地域の皆様にご貢献しなければという気概に満ちております。



Voice of Staff

患者さまのために 強い“志”を持って支える スタッフがいます

常に笑顔絶やさず
患者さまに安心感を与えることが
医師・看護師としての使命です。
そこで、当院で働く元気いっぱいの
スタッフをご紹介します。

●土谷総合病院 消化器内科



スピーディーな事務処理で、 患者さまの待ち時間短縮を目指す

入職して3年目の医師事務作業補助者です。結婚を機に広島へ越して来て、あかね会に入職しました。背が170cmと高いので、患者さまからよく「身長何センチ?」と聞かれます。

主な仕事は、診察室で医師が行う書類作成などの事務的な業務をサポートしています。医師事務作業補助技能検定と肝疾患コーディネーターの資格を取得し、最近は少しですが自信もつきました。事務処理をよりスピーディーにすることで患者さまの待ち時間を短縮できるように頑張ります。

医師事務作業補助者 古市 花奈



より安全な医療を提供するためのサポート

土谷総合病院に入職後、現在の部署に配属されて10年が経ちました。この10年の間に結婚・出産を経験し、環境が変化しました。2児の母となり、仕事と育児を両立する事の大変さを感じています。しかし、職場のスタッフの支え、家族の理解と協力により、大好きな看護師を続ける事ができています。

内視鏡室で行われる、新しい検査・治療についていくのは大変ですが、安全な医療が提供できるようにこれからも消化器内科医師のサポートをしていきたいと思っています。

看護師 森 裕子

患者さまが安心できる、身近な存在になるために

育児休暇後、外来に配属となり「肝疾患コーディネーター」の資格を取得しました。家では育児に奮闘しながらも子供の笑顔に癒されています。肝疾患コーディネーターとしては肝疾患患者さまに関わり不安の傾聴や指導、適切な診療が受けられるよう働きかけています。肝疾患患者さまは診療の継続が重要となるため継続した関わりが出来る事にやりがいを感じています。

まだまだ勉強不足ですが、患者さまのより身近な存在となれるよう頑張りたいと思っています。

看護師 谷本 泰子





◀ 日本腎臓病薬物療法学会
学術集会・総会2013
プログラム集

学会主催者より挨拶

第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会が皆様のご協力によりまして盛会のうちに終了する事が出来ましたことをご報告いたします。また、ご参加いただいた方、関係者のみなさまに、心から感謝申し上げます。



第7回 日本腎臓病 薬物療法学会 学術集会・総会

メインテーマ、
「腎不全治療における
薬物医療のあるべきすがた」と題して
2日間に渡り、学会を開催いたしました。

● 土谷総合病院
薬剤部 主任 鎌田直博

2013年10月5日(土)、6日(日)両日、広島国際会議場におきまして第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2013をメインテーマ「腎不全治療における薬物療法のあるべきすがた」と題して開催させていただきました。初日はあいにくの雨の中での開催となりましたが、2日目は雨も上がり快晴となりました。参加者は招待の方を含めて、北海道から沖縄とまさに全国から876名と多くの方に参加していただきました。

特別講演では、当院副院長であり、透析医学会理事の川西秀樹先生より「維持血液透析処方ガイドライン」というテーマにてご講演をいただきました。そのほか本学会の理事長 平田純生先生(熊本大学薬学部教授)による理事長講演「腎機能を正確に見積もるコツと理論」においては、適正な薬物投与のためにはいかに腎機能を正確に把握するか等、具体例をあげわかりやすく公演されました。そのほか、シンポジウム「腎臓病代替えにおける薬剤師の役割」、ワークショップ「CKDにかかる合併症の克服に向けて」「腹膜透析を中心としたチーム医療への取り組み」、パネルディスカッション「血液浄化法による薬物除去について考える」、教育講演(6講演)、セミナー(6講演)の講演がありました。演者も薬剤師だけでなく、医師、看護師、工学技士の方々にもご講演をいただきました。会場には立ち見も出て、会場に入りきれない参加者もいるほ

どでした。

メインテーマを腎不全医療における薬物療法のあるべきすがたとしましたが、講演を通じて、CKD医療の中で薬剤師のあるべきすがたが少しでも見えてくれば幸いです。当院は慢性腎臓病(CKD)医療の中でも血液透析、腹膜透析を中心に行ってきた病院という背景から、講演が透析に関する内容が多くなったことは、少し反省するところです。

また、一般演題におきましても123題(口頭発表36、ポスター発表87)と多くの先生方にご発表をいただきました。

腎不全医療においては、薬物療法は必要不可欠であることは誰でも理解できることと考えますが、この学会を通じて腎不全医療における薬剤師の役割が今後さらに拡大し、より明確になり、より良い薬物療法が患者様に行えるその一途となれば良いと考えます。

この場をお借りいたしまして本学会にご参加いただいた方、ご講演頂いた演者の先生方、また、ご支援いただきました関係者のみなさまに対し心から感謝申し上げます。



大切なのは、 徹底した栄養管理と 患者さまを思う真心

健康を大きく左右する食事。
患者さま一人ひとりが安心でき、
健康になっていただける食事を
提供したいと考えています。

● 土谷総合病院
給食室 主任 山崎治子



土谷総合病院給食室のスタッフは、管理栄養士をはじめ、すべて病院職員が調理を行っております。地場の新鮮な野菜や旬の物を出来るだけ多く取り入れ、栄養バランスのよい食事を提供しています。また、ハンバーグやお寿司などは真心こめて手作りしておりますので、安心して召し上がって頂きたいです。そして、七夕やお月見などの行事の日にはささやかですが、行事にちなんだ献立を考えており、ベッドの上でも季節を感じて頂ければと思っています。

当院は、腎臓病、心臓病、糖尿病、肝臓病をはじめ様々な病態の患者さまがおられますので、それぞれの病態に合わせた食事を提供しています。塩分制限、カロリー制限など病態に応じた食事内容に合わせる事はとても大変ですが、患者さまの病状を改善させる上でとても重要な役割を担っていると考えて

おります。

食事が原因の一つである生活習慣病に関しても、薬だけ飲めば治るというのではなく適した食事を摂取する習慣を作る事も必要です。今まで塩分の多い食事をされていた方には、病院食は塩分が少ないため味気ないものを感じられると思います。しかし病院食は栄養バランスも考えて作られておりますので、出来るだけ残さず召し上がって頂きたいです。

当院の8階会議室では、一般の方に病気の事をより知って頂くために、定期的に慢性腎臓病教室、心臓病教室、糖尿病教室、肝臓病教室などの教室を開いており、医師だけではなく、管理栄養士が食事面の指導を行っております。どの教室も無料ですので、積極的に参加頂き、皆様のお役に立てて頂けたらと思います。

Tsuchiya Support Section

安全で確実な 心臓血管外科治療を目指して



土谷総合病院 心臓血管外科部長
内田 直里

9月1日付で心臓血管外科に勤務となりました内田と申します。安佐市民病院で15年、広島大学病院で3年、心臓血管外科手術に従事させていただき、その間4000例以上の手術執刀・指導を行ってまいりました。大血管領域では、カテーテルで治療するステントグラフト手術を400例以上施行し、大動脈治療が1週間で退院できるようになっていきます。心臓弁膜症では、人工弁を使用しない自己組織による弁形成術や小切開低侵襲手術など体に優しい弁膜症手術を積極的に取り組んでいます。

伝統と実績のある土谷総合病院の循環器領域において、できるだけ負担の少ない安全で確実な心臓血管外科治療を目指すことで、微力ながら地域医療に貢献したいと考えています。

Column

一枚の写真

土谷病院の創設者「土谷剛治」

あかね会の始まりは昭和12年4月1日、現在の河原町にこの写真の土谷剛治が開設した外科土谷病院です。明治33年、三谿郡田幸村（現在の三次市）で生を受け、熊本医科大学を卒業後、現在の広島県立病院に勤務しながら、岡山大学に通い博士号を取得し、外科土谷病院を開業しました。昭和34年に死去するまで、外科医として地域医療を担う傍ら、現在の株式会社ジェイ・エム・エスの前身である広島血液銀行（昭和27年3月）を創設しました。

土谷総合病院 院長 土谷 治子



地域連携医紹介

地域の医療機関との緊密な連携と機能分担を推進し、医療技術の向上を図ります。

吉田内科循環器科

内科 循環器科 放射線科

院長 吉田 修

開業して23年…初志貫徹、聴診を怠ることなく、心電図や心エコー検査を駆使して、循環器疾患の診断と治療にあっています。心疾患・生活習慣病の患者さんが殆どですが、もちろん風邪や腹痛の患者さんも診ますし、企業の健康診断や予防接種もしています。近隣の他科の先生から心臓精査の依頼も多く、マンネリ化することなく診療をしております。年3~4回発行の手作り広報誌「へるつ」も第82号を数えました。

土谷総合病院の先生方には、救急患者や心臓・消化器の精査など大変お世話になっております。今後とも宜しくお願い致します。

☎ 082-248-1100
 受付時間 / 9:00~13:00, 15:00~18:00
 休診日 / 水、土曜日の午後、日・祝日、その他
 住所 / 〒730-0021 広島市中区胡町4番28号 胡町ビル3F



医療法人 あかね会

土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3番30号
 ☎ 082-243-9191 (代)



- **阿品土谷病院**
 〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
 ☎0829-36-5050 (代)
- **大町土谷クリニック**
 〒731-0124 広島市安佐南区大町東二丁目8番35号
 ☎082-877-5588 (代)
- **中島土谷クリニック**
 〒730-0811 広島市中区中島町6番1号
 ☎082-542-7272 (代)
- **介護老人保健施設シエスタ**
 〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
 ☎0829-36-2080 (代)

在宅事業部(介護サービス部門)

土谷訪問看護ステーション

光南 ☎082-544-2789	西広島 ☎082-507-0855
大町 ☎082-831-6651	出汐 ☎082-250-1577
佐伯 ☎082-925-0771	

土谷ヘルパーステーション

光南 ☎082-545-0311	西広島 ☎082-507-0877
大町 ☎082-831-6654	出汐 ☎082-250-5080
佐伯 ☎082-925-0770	戸坂 ☎082-502-5205
可部 ☎082-819-2250	矢野 ☎082-820-4825
阿品 ☎0829-20-3585	

土谷居宅介護支援事業所

光南 ☎082-504-3202	西広島 ☎082-507-0866
大町 ☎082-831-6653	出汐 ☎082-250-3730
佐伯 ☎082-925-1550	戸坂 ☎082-502-5215
矢野 ☎082-820-4835	阿品 ☎0829-20-3721

土谷デイサービスセンター

光南 ☎082-544-2885	大町 ☎082-831-6600
------------------	------------------

スタッフ募集

心豊かな医療を提供し、楽しく時間を共有しながらスキルアップに繋げるために、あかね会では、やる気のある方、経験豊富な方の募集を随時行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



土谷総合病院

編集者後記

あかね会には1,400人を超える職員がいます。その中には、あまり表に出る事のない裏方のエキスパート達がたくさんおられますので、少しずつ紹介できたらと思います。また今回から地域の医療機関の紹介をする事になりました。ご近所のかかりつけ病院の先生がそのうち登場するかもしれませんね…。

本部事務局



医療法人あかね会 本部事務局

〒730-0811 広島市中区中島町4-11
 ☎ 082-245-9274
<http://www.tsuchiya-hp.jp>
 2013年12月発行